

## 1 社会・治安情勢

- (1) 国家の統治及び社会の安寧秩序を著しく不安定にするような戦闘、暴動、凶悪犯罪等は認められないが、表現の自由等への規制への反対動向、開発に反対する住民らの抗議行動、南シナ海の領有権に絡む中国に対する抗議行動等が認められた。
- (2) 当地は共産党による一党体制で政権は安定しているといえる。今期間中、毎年行うことが定められた国家主席、首相等、要職者への信任投票について、次期国会では行わないことが決定されたが、これに対する大きな反対動向は見られなかった。
- (3) 当地の対日感情を損なう情報には特段接していない。

## 2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) 当地では、犯罪発生状況に関する公的な統計を閲覧できるインフラは整備されていないが、日常、凶悪事件を含む犯罪の発生が報じられない日はなく、一般犯罪及び凶悪犯罪ともに断続的に発生していることが認められる。
  - ア 1月、クアンニン省において、大規模な麻薬密売組織の構成員ら89人のうち39人に死刑が求刑された。求刑どおり39人の死刑が決定した場合、過去最多の死刑判決となるという。被告らは4つの組織に所属、ヘロインの大量密輸に関与したとされる。
  - イ 1月、ハノイ市内において、追い越ししようとしたタクシーが道を譲らなかったとして、走行中の車からタクシーに向かって拳銃を発砲した2人が逮捕された。
  - ウ 1月、複数の国際線の機内において、機内持込み荷物から貴重品を盗んだ（盗もうとした）として中国人が取り押さえられた。
- (2) 邦人被害事案
  - ア 国際線に搭乗中、目的地に到着してみると、手荷物から貴重品がなくなっていた。
  - イ 長距離バスに荷物を置いたまま一時降車し、用事を済ませて戻ると貴重品がなくなっていた。
- (3) 外国人被害事案
  - ア 2月、ハノイ市内の路上において、外国人旅行客のカメラバックをひったくりした等として4人が逮捕。逮捕された4人のほかにも3人の共犯者の関与が疑われている模様。
  - イ 2月、ハノイ市内において、外国人旅行者から現金、携帯電話等を強盗したとして、タクシー運転手2人が逮捕された。犯行に及んだタクシーは営業許可を受けていないもので、目的地へ着くことなく車を走らせながら高額な料金を要求。旅行者が支払いを断ると、共犯者がタクシーに乗り込んだ上、被害者を郊外の堤防へ連れて行き、顔面を殴打し金品を奪ったという。

### 3 テロ・爆弾事件等発生状況

- (1) テロ事件の発生は承知していない。
- (2) 1月、タインホア省において、届けられた子どもの誕生プレゼントが爆発し、家族が死傷した。捜査の結果、被害者家族と商売上のもめ事を有していた同じ村の同業者が逮捕された。

### 4 誘拐・脅迫事件発生状況

2月、ランソン省において、中国人が、借金返済を要求するためにベトナム人債務者の子どもを殺害した模様。債務者である両親が不在中、留守番していた子どもを殺害したとされる。

### 5 日本企業の安全に係わる諸問題

- (1) 日本企業に対するストライキの発生件数（当館把握数）は0件であった。
- (2) 期間中、外国系企業におけるスト、発電所建設、道路建設等に対する住民の抗議行動の発生が認められた。